

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

教科担当者：

使用教科書：（高等学校『言語文化』数研出版）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】基礎基本となる知識や概念を深く理解し習得したりテラシーを駆使して幅広い分野に活用することができる。

【思考力、判断力、表現力等】課題や目的に応じて幅広く収集した情報を取捨選択し、その内容を適切な表現方法を用いて活用できる。

【学びに向かう力、人間性等】課題解決をして行動をする中で新たな課題を自ら発見し、自らの意思や判断によって積極的に課題解決へ向けて行動できる。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
語彙や文法、日本の文化的な背景といった基本的な知識および概念を理解した上で、必要な技能を習得することができる。	課題や目的に応じて様々な情報を収集し、その内容について表現方法を工夫して活用し、物事全体を整理した上で一般的な事実を組み合わせることで課題解決に必要な結論を導くことができる。	自らの言語文化に対して関心をもち、現代にも通じる課題へ向けて、様々な人の意見に耳を傾け、合意形成を図りながら解決に向けて努力することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
単元：古文の世界を楽しむ 【知識及び技能】①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】②文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えることができる。	教材：『児のそら寝』『検非違使忠明』（宇治拾遺物語） 指導事項 ・用言の活用をまなぶ。 ・内容、構成、展開をとらえる。 ・内容を解釈する。 ・解釈を深める。			○	①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2ウ〕 ②文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。〔B(1)ア〕 ③粘り強く『宇治拾遺物語』収録話と『今昔物語集』収録話の違いを抽出し、学習課題に沿って両説話の性格の違いをまとめようとしている。	○	○	○	9
定期考査						○	○		1
単元：受け継がれる古文 【知識及び技能】①文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】②作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	教材：『羅生門』（芥川龍之介） 指導事項 ・内容、構成、展開をとらえる。 ・内容を解釈する。 ・文章を評価し、解釈を深める。			○	①文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔1エ〕 ②作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕	○	○		5
単元：古文の世界を楽しむ 【思考力、判断力、表現力等】①作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	教材：『なよ竹のかぐや姫』（竹取物語） 指導事項 ・内容、構成、展開をとらえる。 ・内容を解釈する。 ・自分の考えをもつ。	○	○		①作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。〔B(1)エ〕 ②『竹取物語』の派生作品について積極的に調べ、学習課題に沿って発表に取り組みようとしている。		○	○	5
単元：和歌による心の交流 【知識及び技能】①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】②作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	教材：『芥川』（伊勢物語）『在原業平中将の女、鬼に食噉らるる語』（今昔物語集） 指導事項 ・内容、構成、展開をとらえる。 ・内容を解釈する。 ・文章を評価し、解釈を深める。 ・自分の考えをもつ。 ・作品の背景を知る。	○	○		①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2ウ〕 ②『読むこと』において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。〔B(1)エ〕 ③粘り強く『伊勢物語』と『今昔物語集』の違いを抽出し、学習課題に沿って文章表現についての話し合いに参加しようとしている。	○	○		6
定期考査						○	○		1
単元：平安宮廷文学の世界 【知識及び技能】①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】②作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	教材：『春はあけぼの』『ありがたきもの』（枕草子） 指導事項 ・内容、構成、展開をとらえ、内容を解釈する。 ・解釈を深め、自分の考えをもつ。 ・表現事項を明確にする。 ・表現方法を工夫する。	○	○		①作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 ②自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。〔A(1)イ〕 ③積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	○	○	○	6
単元：戦乱下の人間像 【知識及び技能】①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古	教材：『祇園精舎』（平家物語） 指導事項 ・内容、構成、展開をとらえる。				①古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔2ウ〕				

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合（帝国書院）、標準高等地図（帝国書院） ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】日本や世界の地域的特色や歴史の展開について理解するとともに、地図や統計、史料を読み取る力
- 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力
- 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に授業や社会に関わろうとする力

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理的事象に関して、GISや統計資料を読み取ったり、調査内容などを適切かつ効果的にまとめている。	位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存作用、地域などのに着目して、地理的な課題に向けて、構想したり、考察したりしている。	持続可能な社会に向けて、授業や社会に関わり、主体的に探究し、グループ内で合意形成をしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元「地図と地図情報システム」</p> <p>【知識及び技能】 紙の地図を読図したり、レイヤーなどの駆使したGISの概念を理解する。GISなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地図情報や統計資料を用いた効果的な伝え方について、多面的・多角的に考察し、表現する。グローバル化にともなう移民や経済などの現代的課題に対して、多面的・多角的に考察し、議論する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地図表現の違いや身近なWebGISなどについて自ら操作し探究的に学ぼうとする態度を養う。グローバル化にともなう移民や経済などの現代的な課題に関して主体的かつ対話的に学びを深め、合意形成に至る。</p>	<p>【指導内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地球上の位置と時差 2) 地図の役割と種類 3) 国家と領域 4) グローバル化する世界 <p>【デジタル端末の活用と教材の関係】 教科書や資料集などの活用に加えて、以下のコンテンツを活用する。 地図操作や概念に関するコンテンツ ・地理院地図 ・Google Earth ・今昔マップ</p> <p>地図作成に関するコンテンツ ・e-Stat ・JSTAT MAP ・RESAS</p> <p>課題の提出や討論に関するツール ・Forms (Office 365) ・ロイロノート</p> <p>以上のコンテンツを、生徒が日々の授業に対して振り返りや発展的で探究的な学びを支援できるものとして活用する。</p>	<p>【知識・技能】 紙の地図を読図したり、レイヤーなどを駆使したGISの概念を理解している。GISなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地図情報や統計資料を用いた効果的な伝え方について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。グローバル化にともなう移民や経済などの現代的課題に対して、多面的・多角的に考察し、議論することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地図表現の違いや身近なWebGISなどについて自ら操作し探究的に学ぼうとする態度がある。グローバル化にともなう移民や経済などの現代的な課題に関して主体的かつ対話的に学びを深め、合意を形成することができる。</p>				20
<p>【定期考査】</p> <p>第1部 地図でとらえる現代世界に関するテストとし基本的な知識・技能と論理的かつ効果的に作図を行う思考力や表現力を図る。</p>		<p>【知識・技能】 授業中に取扱った基本的な知識・技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 発展的で思考力を問う問題に対しても、統計資料や地図から適切に判断し表現できている。</p>				1
<p>単元「生活文化の多様性と国際理解」</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりしていることに加え、そういった文化には共通性や地域性があることについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の生活文化について、地理的環境（自然環境、宗教、歴史、産業）の観点からその成り立ちや共通性、地域性について考察することができる。生活文化を構成する要素が多様な観点から成り立つことをコンセプトマップなどで表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、持続可能な社会（多様な社会の形成を含む）を目指して、主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自然環境と生活文化 2) 宗教と生活文化 3) 歴史と生活文化 4) 産業と生活文化 <p>【デジタル端末の活用と教材の関係】 教科書や資料集などの活用に加えて、以下のコンテンツを活用する。 教材として使用するコンテンツ ・地理院地図 ・Google Earth</p> <p>課題の提出や討論に関するツール ・Forms (Office 365) ・ロイロノート</p> <p>図書館にある資料やインターネット上のデータを生徒が主体的に活用する場面を設ける。</p>	<p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりしていることに加え、そういった文化には共通性や地域性があることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の生活文化について、地理的環境（自然環境、宗教、歴史、産業）の観点からその成り立ちや共通性、地域性について考察している。生活文化を構成する要素が多様な観点から成り立つことをコンセプトマップなどで表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、持続可能な社会（多様な社会の形成を含む）を目指して、主体的かつ対話的に学びを深め、追究している。</p>				13

高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科: 地理歴史 科目: 歴史総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組 8組

教科担当:

使用教科書: (『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』(山川出版社))

教科 地理歴史

の目標:

- 【知識及び技能】日本や世界の地域的特色や歴史の展開について理解するとともに、地図や統計、史料を読み取る力
- 【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力
- 【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に授業や社会に関わろうとする力

科目 歴史総合

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識・近現代の歴史の変化に関する諸事象について、世界とその中の日本を広く社会的視野から捉え、近現代の歴史を理解する。技能・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける。	近現代の歴史の変化に関する事象の意味や特色、特色などを、総合的に考察して多面的・多角的に考察し、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したり表現する力を養う。	近現代の歴史の変化に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <p>産業革命による工業化、中国の開港と日本の開港、世界市場の形成などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>世界市場の形成などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>産業革命などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <p>歴史の原 ①歴史と私たち ②歴史の特質と資料 <第1部 第1章 結びつく世界と日本の開港> 「近代化と私たち」について問いを表現する</p> <p>① 19世紀の東アジアにおける社会と経済 ② 貿易が結んだ世界と日本 ③ 開港 ④ 中国の開港と日本の開港</p> <p>【教材・一人一台端末の活用】</p> <p>教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノートを活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>産業革命による工業化、中国の開港と日本の開港、世界市場の形成などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>世界市場の形成などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>産業革命などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>		<p>【知識・技能】</p> <p>授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <p>市民革命、ナポレオン主義、明治維新、日本の産業革命、帝国主義などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>市民革命などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>帝国主義などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <p>第2部 第2章 国民国家と明治維新 ①市民革命 ② 国民国家とナポレオン主義 ③ 市民革命 ④ 日本産業革命 ⑤ 帝国主義 ⑥ 東アジアの国際秩序の動向 ⑦ 日露戦争と東アジアの動向 「近代化と現代の諸課題」について考察・表現する</p> <p>【教材・一人一台端末の活用】</p> <p>教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノートを活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>市民革命、ナポレオン主義、明治維新、日本の産業革命、帝国主義などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>市民革命などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>帝国主義などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>		<p>【知識・技能】</p> <p>授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <p>第一次世界大戦と戦後の国際協定期間の成立、ワグネル主義の成立などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>第一次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>ワグネル主義などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <p><第2部 第3章 総力戦と社会> 「国際秩序の変化と大衆化と私たち」について問いを表現する</p> <p>① 第一次世界大戦の展開 ② ワグネル主義の成立とアメリカ合衆国の台頭 ③ ヴェルサイユ体制とワシントン ④ 世界経済の変容と日本 ⑤ 国際連合の成立 ⑥ 消費社会と大衆文化</p> <p>【教材・一人一台端末の活用】</p> <p>教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノートを活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>第一次世界大戦と戦後の国際協定期間の成立、ワグネル主義の成立などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>第一次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ワグネル主義などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
<p>定期考査</p>		<p>【知識・技能】</p> <p>授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <p>世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>冷戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <p><第2部 第4章 経済危機と第二次世界大戦> 「国際連合と国際経済体制」について問いを表現する</p> <p>① 冷戦下の地域戦争と植民地化 ② 第二次世界大戦下の社会 ③ 国際連合と国際経済体制 ④ 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ⑤ 日本の独立と日米安全保障条約 ⑥ 国際秩序の変化と大衆化と現代の諸課題」について考察・表現する</p> <p>【教材・一人一台端末の活用】</p> <p>教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノートを活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>冷戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>		<p>【知識・技能】</p> <p>授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <p>植民地化と第三世界の形成、核兵器を収める国連と核拡散防止条約などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>植民地化などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>高度経済成長などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <p><第3部 第5章 冷戦と世界経済> 「グローバル化と私たち」について問いを表現する</p> <p>① 冷戦下の地域戦争と植民地化 ② 東西両陣営の動向と1960年代の社会 ③ 植民地戦争から緊張緩和へ ④ 国際連合の形成と展開 ⑤ 計画経済とその波及 ⑥ 日本の高度経済成長 ⑦ グローバル化と冷戦後の日本</p> <p>【教材・一人一台端末の活用】</p> <p>教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノートを活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>冷戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>		<p>【知識・技能】</p> <p>授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1
<p>【知識及び技能】</p> <p>石油ショックとオイルショック、開発途上国、冷戦の終結とソ連の崩壊、地域統合と地域紛争などについて、基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>石油危機などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>冷戦終結などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。</p>	<p>【指導事項】</p> <p><第3部 第6章 世界秩序の変容と日本> ① 石油危機 ② グローバル化と経済発展 ③ 市場開放と経済的自由化 ④ 情報技術革命とグローバルゼーション ⑤ 冷戦の終結とソ連の崩壊 ⑥ 現代の東アジア ⑦ 東洋のグローバル化・ラテンアメリカの民主化 ⑧ 地域統合の拡大と変容 ⑨ 地域紛争と国際社会</p> <p>【教材・一人一台端末の活用】</p> <p>教科書、授業プリント、課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイノートを活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>世界恐慌、第二次世界大戦と戦後の国際経済体制の成立、冷戦、日本の占領などについて、基本的な知識を理解している。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>第二次世界大戦などについての諸資料を読みとくことを通じて、歴史事象の特徴について多面的、多角的に考察・議論し、文章等で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>冷戦などの歴史事象を材料として、よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め、追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
<p>定期考査</p>		<p>【知識・技能】</p> <p>授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し、その結果を適切に表現している。</p>	○	○		1

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当： 〃

使用教科書：（ NEXT 数学 I ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を促す。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察する能力を培う。また問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数と式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し実証する力、図形関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す力、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや数量関係の図表などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	能	相当時数
1 学 期	数と式 式を扱うための基本的な用語や計算方法について理解する。また、式を1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなど、目的に応じた見方ができるようにし、既に学習した計算方法と関連付けるなど、式を多面的に捉える力を培う。	数と式 多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解 実数	【知識・技能】 単項式や多項式、同項項、次数など式に関する用語を理解し、加法や減法などの計算ができる。指数法則や分配法則を用いて計算ができる。公式を理解し、展開や因数分解ができる。共通因数をくくり出して因数分解ができる。 【思考・判断・表現】 少し複雑な式の計算を工夫して行うことができる。式を1つの文字におき換えたり、積の組み合わせを工夫したりすることで、式の展開を簡略化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。変形式の工夫について、その理由を振り返って考えたり、どの文字で整理するなど、よりよい因数分解の方法について考察したりしようとする。	○	○	○	5~6
	定期考査			○	○		1
	集合と命題 中学段階までに取って扱ってきた数を実数としてまとめた数の体系について理解を深め、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解する。また、簡単な無理数の四則計算や分母の有理化ができるようになる。	実数 根号を含む計算 命題と証明 命題と条件	【知識・技能】 有理数が整数、有限小数、循環小数を理解し、分数を循環小数で、循環小数を分数で表すことができる。絶対値の意味を理解し、実数の絶対値を求めることができる。根号を含む式の加法、減法、乗法、除法の計算ができる。必要条件、十分条件、同値を理解し、その判定ができる。条件の否定の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 数の絶対値を用いて数直線上の距離を考えられる。対偶を用いて命題を証明することができる。命題の真偽や必要条件、十分条件について、集合と関連付けて理解したり説明したりしようとする態度がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 今まで学習してきた数の体系を、計算の可能性と関連付けてその包含関係などを整理し、考察しようとする。	○	○	○	2
2次関数 関数とそのグラフについて理解する。また、2次関数のグラフの特徴について、頂点の平行移動と関連付けて理解し、2次関数のグラフがけけるようにする。2次関数の最大値、最小値をグラフを用いて求められるようにし、それを様々な事象の考察に活用できるようにする。また、条件から2次関数を決定できるようにする。	関数とグラフ	【知識・技能】 グラフの定義を理解し、関数を式で表すことができる。関数のグラフの意味を理解している。放物線の軸、頂点などについて理解し、2次関数 $y=ax^2$ のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して考察できる。放物線の平行移動について、x軸方向、y軸方向などの用語を用いて表現できる。最大値・最小値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフの平行移動、対称移動の一般公式の意味を考察したり、それを活用してグラフの方程式を求めたりしようとする。最大値、最小値の条件から関数や定義域を自由に定め、それらから一般的な性質を導き出そうとする。	○	○	○	15	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	【2次方程式と2次不等式】 2次方程式の解について考察し、それを2次関数のグラフとx軸の交点と関連付けて考えることができるようにする。	2次関数のグラフ 2次関数の最大値・最小値 2次不等式	【知識・技能】 2次方程式を、因数分解や解の公式を利用して解くことができる。解についての条件が与えられた2次方程式について、判別式を用いて定数の値や値の範囲を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2次方程式の解の公式と判別式との関係を理解し、解の判別式に利用できる。2次方程式の解の公式と判別式との関係を理解し、解の判別に利用できる。 【主体的に取り組む態度】 2次方程式を解くことができる。2次方程式の解を考察するのに、2次関数のグラフを積極的に利用しようとする。放物線の頂点のy座標と判別式の関係について、グラフとx軸の共有点の個数をもとに考察することができる。 1次の係数が2b'である2次方程式の解の公式を積極的に利用しようとする。2次方程式の解を考察するのに、2次関数のグラフを積極的に利用しようとする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	【2次方程式と2次不等式】 2次方程式と2次関数のグラフとx軸の関係から考察し、2次不等式が解けるようにする。	2次不等式 2次関数のグラフとx軸の位置関係	【知識・技能】 2次方程式を、因数分解や解の公式を利用して解くことができる。2次関数のグラフとx軸の共有点の座標を求めることができる。 【思考・判断・表現】 2次方程式の解の公式と判別式との関係を理解し、解の判別に利用できる。解がない場合など特別な場合も含めて、2次関数のグラフを用いれば2次不等式を解くことができる。2次関数のグラフとx軸の共有点の位置について、グラフを利用して解決できる。 【主体的に取り組む態度】 2次方程式の解を考察するのに、2次関数のグラフを積極的に利用しようとする。1次不等式と1次関数の関係をもとに、2次不等式と2次関数の関係を考察しようとする。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
3 学 期	【三角形】 三角形の意味やその基本的な性質について理解し、三角形を用いた計量を扱うなど、三角形を事象の考察に活用できるようにする。正弦定理、余弦定理について理解し、それらを適切に用いて三角形の辺や角を求めるようにし、あわせて三角形の面積も求められるようにする。また、これらのことを空間図形を含む様々な事象に活用できるようにする。	三角形 三角形の相互関係 正弦定理・余弦定理	【知識・技能】 三角形の定義を理解し、直角三角形において正弦・余弦・正接を求めることができる。三角形の相互関係を利用して、三角形の1つの値がわかっているとき、残りの2つの値を求めることができる。90°-θの三角形の公式を利用して、ある角の三角形を別の角の三角形で表すことができる。鋭角の三角形を鋭角の三角形で表すことができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象における長さや角度について、三角形を用いて捉え、三角形の値からそれを求めることができる。3つある三角形の相互関係のそれぞれをどのような場面で行うか判断することができる。角の値によって三角形の値がどのように増減するか、適切に表現できる。 【主体的に取り組む態度】 三角形の値が三角形の大きさによらず、角の大きさが定まることに関心をもつことができる。三角形の相互関係を、三角形の定義や三平方の定理などから導出しようとする。正弦定理、余弦定理を証明しようとする。	○	○		10
	定期考査			○	○		42
合計							

保谷 高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学A

教科: 数学 科目: 数学A 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組~ 8組

教科担当者:

使用教科書: (NEXT数学A(数研出版))

使用教材: (NEXT数学シリーズ対応CONNECT数学1+A)

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を培う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学的の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1章 場合の数と確率 場合の数を求めるための基本的な考え方について理解する。また、様々な場合の数を求めるための公式について、それを適用するだけにとどまらず、公式が導出される過程についても理解し、様々な場合の数の数に活用できるような力を培う。	①集合の要素の個数 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1
1章 場合の数と確率 場合の数を求めるための基本的な考え方について理解する。また、様々な場合の数を求めるための公式について、それを適用するだけにとどまらず、公式が導出される過程についても理解し、様々な場合の数の数に活用できるような力を培う。	②場合の数 ③順列 ④組合せ ⑤事象と確率 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1
1章 場合の数と確率 確率の意味とその表し方や性質について理解し、場合の数の求め方を活用するなどして、様々な事象の確率を求められるようにする。また、試行の独立について理解を深め、反復試行の確率や条件付き確率を求められるようにする。さらに、期待値について理解し、それを求められるようにするとともに、様々な判断に用いるような姿勢を養う。	⑥確率の基本性質 ⑦独立な試行と確率 ⑧条件付き確率 ⑨期待値 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	16
定期考査			○	○	○	1
2章 図形の性質 平面図形の様々な性質について、その証明を含めて理解し、それを様々な事象の考察や、新たな性質の証明などに活用できるような力を培う。	①三角形の角の二等分線と辺の比 ②三角形の外心・内心・重心 ③チェバの定理・メネラウスの定理 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1
2章 図形の性質 平面図形の様々な性質について、その証明を含めて理解し、それを様々な事象の考察や、新たな性質の証明などに活用できるような力を培う。 様々な空間図形の性質について、平面図形との違いにも注目しながら理解し、様々な事象の考察に活用できるようにする。	④円に内接する四角形 ⑤円と直線 ⑥2つの円 ⑦作図 ⑧直線と平面 ⑨多面体 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。	○	○	○	23
定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科

科目 総合的な探究の時間

教科： 0

科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書： ()

教科 0

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を収集・整理・分析して、まとめ・表現している。	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元：TGGにおける体験活動 【知識及び技能】 日常生活で使うことのできる基本的な英会話能力や、他国の文化に関する知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた課題に関して考察し、他者に文章などで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題に対して主体的・協働的に取り組み、他者の意見を聞きながら自分の考えをまとめる。	【指導事項】 事前学習として、TGGのHP内にある動画を視聴し、施設内における注意事項の確認や、英語を積極的に活用する態度を養う。 【教材・一人1台端末の活用】 事後学習として、体験活動で学んだ成果や今後の課題などをワークシートに記入させ、今後の学校における言語活動などに活かす。	単元：TGGにおける体験活動 【知識及び技能】 日常生活で使うことのできる基本的な英会話能力や、他国の文化に関する知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 与えられた課題に関して考察し、他者に文章などで表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 与えられた課題に対して主体的・協働的に取り組み、他者の意見を聞きながら自分の考えをまとめることができる。	○	○	○	6
	単元：職業や進路に関する課題 【知識及び技能】 職業や自己の進路に関する情報を、本などから収集し、まとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 職業や自己の進路に関して考察し、情報を整理・分析し、文章などで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 職業の選択と社会貢献及び自己実現のために、主体的に課題に取り組む。	【指導事項】 自己の進路に関する学習では、様々な大学の講義シートを読み、それをまとめて他者に発表する。文理選択ガイダンスを実施し、自己の在り方生き方を考えさせ、課題を発見させる。 【教材・一人1台端末の活用】 職業や自己の進路に関する学習では、端末を用いた調べ学習を行う。	単元：職業や進路に関する課題 【知識及び技能】 職業や自己の進路に関する情報を、本などから収集し、まとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 職業や自己の進路に関して考察し、情報を整理・分析し、文章などで表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 職業の選択と社会貢献及び自己実現のために、主体的に課題に取り組むことができる。	○	○	○	6
	単元：協働力とリーダーシップの涵養 【学びに向かう力、人間性等】 体育祭を通して、主体性や自己理解、他者と協働する態度を養う。	【指導事項】 体育祭の準備、練習を行う。 また、事後指導として体育祭の振り返りを行う。	単元：協働とリーダーシップの力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 体育祭を通して、主体性や自己理解、他者と協働する態度が養われている。			○	3
2 学期	単元：協働力とリーダーシップの涵養 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭を通して、主体性や自己理解、他者と協働する態度を養う。	【指導事項】 文化祭の準備を行う。 また、事後指導として文化祭の振り返りを行う。	単元：協働力とリーダーシップの涵養 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭を通して、主体性や自己理解、他者と協働する態度が養われている。			○	5
	単元：地域社会との関わり 【学びに向かう力、人間性等】 地域の祭りや学校説明会などの行事を通して、地域に貢献する姿勢や、他者と協働する態度を養う。	【指導事項】 西東京市市民祭実行委員会と連携し、市民祭のボランティアを行う 学校説明会に参加する中学生の校内誘導などを行う	単元：地域社会との関わり 【学びに向かう力、人間性等】 地域の祭りや学校説明会などの行事を通して、地域に貢献する姿勢や、他者と協働する態度が養われている。			○	4
	単元：SDGs 【知識及び技能】 SDGsに関する諸課題を、本などから収集し、まとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 SDGsの現状と課題について考察し、それをまとめ、発表を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の諸課題の解決に関する態度を養い、社会に貢献する姿勢を育成する。	【指導事項】 SDGsの17の目標に関して、現状や目標達成のためにできることなどをグループでまとめ、発表を行う。 【教材・一人1台端末の活用】 SDGsに関する学習では、端末を用いた調べ学習を行う。	単元：SDGs 【知識及び技能】 SDGsに関する諸課題を、本などから収集し、まとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 SDGsの現状と課題について考察し、それをまとめ、発表を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の諸課題の解決に関する態度や、社会に貢献する姿勢をもっている。	○	○	○	8
3 学期	単元：協働力とリーダーシップの涵養 【学びに向かう力、人間性等】 合唱コンクールを通して、主体性や自己理解、他者と協働する態度を養う。	【指導事項】 合唱コンクールの準備・練習を行う。 また、事後指導として合唱コンクールの振り返りを行う。	単元：協働力とリーダーシップの涵養 【学びに向かう力、人間性等】 合唱コンクールを通して、主体性や自己理解、他者と協働する態度が養われている。			○	3
合計							35

高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 理科 科目 化学基礎

教科: 理科 科目: 化学基礎 単位数: 2 単位
対象学年組: 第1学年 1組~ 8組
教科担当:
使用教科書: 化基704「化学基礎」実教出版
教科 理科 の目標:

- 【知識及び技能】自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標:
【知識及び技能】日常生活や社会との関連を深めながら、物質とその変化について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

Table with 6 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価標準, 知, 意, 態, 記述点数. It details the curriculum for 'Chemistry Basics' across three semesters, covering topics like atomic structure, chemical reactions, acids/bases, and redox reactions.

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～8組
 教科担当者：
 使用教科書：（高等学校 生物基礎 数研出版）
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	生物の特徴 【知識及び技能】 生物の特徴について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	【指導事項】 ・探究のプロセスや手法を理解する。顕微鏡の使い方を習得する。 ・多様な生物にも共通性があることを理解する。多様な生物に共通性が見られる理由について理解する。 ・生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。生命活動にはATPのエネルギーが利用されていることを理解する。 ・呼吸や光合成ではATPが合成されていることを理解する。生体内の化学反応が、酵素のはたらきによって進行していることを理解する。 ・DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解すること。	【知識・技能】 顕微鏡の使用手法や、グラフ等の読み取り方法を理解している。実験方法や歴史から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 実験結果やグラフ等を用いた効果的な伝え方について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 顕微鏡を用いて探究的に学ぼうとする態度がある。クラスメイトと話し合いの中で積極的に問題を解決しようとする姿勢が見られる。	○	○	○	30
	ヒトの体の調節 【知識及び技能】 ヒトの体の調節について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	【指導事項】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解すること。 ・体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解すること。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解すること。 ・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解すること。	【知識・技能】 ・体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。 ・自律神経系と内分泌系が、からだを調節するしくみを理解する。 ・自律神経系と内分泌系のはたらきによって血糖度が調節されるしくみを理解する。 ・糖尿病の原因を理解する。 ・自然免疫・適応免疫のしくみと、それにはたらく細胞の役割を理解する。 ・免疫記憶のしくみを理解する。 ・免疫のはたらきが低下したり過敏になったりすることで起こる病気や、免疫のしくみを利用した医療について理解する。 【思考・判断・表現】 ・運動によって心拍数が増加するしくみを考察し、説明できる。 ・健康な人の食事の前後における血糖濃度・インスリン濃度のグラフをもとに、血糖濃度とインスリン分泌の関係に気づき、説明できる。 ・健康な人と糖尿病患者の食後の血糖濃度・インスリン濃度のグラフの比較に基づいて、糖尿病患者の血糖濃度が低下しない理由を考察し、説明できる。 ・同じ抗原が2回体内に侵入したときの抗体産生量のグラフから、抗体産生の速さや抗体量の違いを読み取り、説明できる。 ・免疫の学習内容をもとに、未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察し、自分の考えを述べるることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な経験から、クラスメイトと話し合いの中で積極的に問題を解決しようとする姿勢が見られる。	○	○	○	25
2 学期	C 生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、生態系の保全の重要性について認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	【指導事項】 ・植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解すること。 また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解すること。 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解すること。また、生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解すること。 ・生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解すること。また、生態系の保全の重要性を認識すること。	【知識・技能】 生態系の関係図や、グラフ等の読み取り方法を理解している。資料や観察から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 実験結果やグラフ等を用いた効果的な伝え方について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な活動の中で探究的に学ぼうとする態度がある。クラスメイトと話し合いの中で積極的に問題を解決しようとする姿勢が見られる。	○	○	○	15
	3 学期					合計	70

高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 芸術 科目 音楽I

教科: 芸術 科目: 音楽I 単位数: 単位

対象学年級: 第1学年 1組~8組

教科用図書:

使用教科書: (MOUSA 教育芸術社)

教科 芸術 目標: 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中での芸術や芸術文化と豊かに関わる資力・能力を育成する。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的に表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって芸術を愛好する心情を育むとともに、感性高め、豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな表現を行う。

Table with 3 columns: 知識及び技能, 思考力、判断力、表現力等, 学びに向かう力、人間性等. Each column contains a description of learning objectives related to music appreciation and performance.

Main table with 10 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 表現 (歌, 舞, 劇), 鑑賞, 評価規準, 知, 思, 感, 記, 述. It details lesson plans for 1st and 2nd periods, covering topics like song creation, rhythm, and music theory.

合計 70

